

就労・就学だけでなく、 コミュニティで暮らしていくために



〈精神科医〉
吉村 直記

(よしむらなおき)
国立精神・神経医療研究センター病院 第六精神科医長/
統合失調症早期診断・治療センター センター長

1997年に島根医科大学(現島根大学医学部)を卒業後、昭和大学病院精神科、駒木野病院(東京都)勤務を経て、昭和大学附属鳥山病院講師となる。2012年より現職。趣味はダイビングと魚の水中撮影。

■ 「認知機能を何とかしたいのですが」

認知機能障害に関しては、患者さんやご家族にも広く知られるようになりました。インターネットで詳しく調べられますから、最近のご家族ないしご本人が「認知機能を改善したい」と受診されることもあります。これまで初診でそんなふうと言われることはほとんどありませんでしたから、大きな変化と言えるでしょう。

■ 認知機能障害とリカバリー

統合失調症領域で認知機能障害が目されるようになったのは、ここ10年ほどではないでしょうか。日本でリカバリーの概念が広まり始めた時期と重なります。自分のやりたいことを実現し達成感を得ていくリカバリーの過程で、認知機能は重要な役割を果たします。

認知機能障害があると、物事の優先順位決定や、効率のよい計画立案、さまざまな情報を蓄積し必要なときに引き出すことも苦手になってしまいます。これらは就労・就学に大きな影響をおよぼします。

■ 就労・就学の前段階でも問題となる

しかし認知機能障害が問題となるのは、就労・就学の局面だけではありません。デイケアや作業所など社会復帰施設で行うリハビリテーション、近所づきあい等々、コミュニティで活動する際にも足かせとなってしまうのです。社会認知に問題があって周囲の状況を把握できなかったり、表情や仕草で感情を推察しにくいなどの障害があると、患者さん同士やスタッフとのコミュニケーションが上手くとれません。相手の感情を正確に把握することによって、相手の言葉を被害的に捉えることもなくなり、集団の中に入っていきやすくなります。これは組織や社会に参加しているという気持ちが形成されていくために非常に重要なことだと思います。

最近は自助グループやピア活動なども盛んになっていますから、その中でも認知機能は重要な要素でしょう。

■ 楽しくなければ続かない

統合失調症の認知機能障害に対するリ

ハビリテーションが開発されています。代表的なものにNEAR*とSCIT**があり、その効果について検証中ですが、作業スピードの向上など、患者さんにとって希望の持てる要素が見えています。

こうした認知機能のリハビリテーションを行う際、課題となるのは患者さんのモチベーション維持です。患者さんがそのトレーニングによって「改善した」という気持ちを持ってもらうことが第一ですが、楽しく取り組んで達成感を得られるよう、ゲーム要素を採り入れているプログラムもあります。義務感で取り組むトレーニングは長続きしません。

■ 患者さんの生活を考える

これまで外来では「幻聴を鎮めましょう、眠れるようにしましょう」と、薬を出すことがコミュニケーションの主体で、患者さんの実生活にはなかなかアプローチできませんでした。社会復帰に向けて「作業療法やデイケアに参加してみよう」と言うことが多かったのですが、薬やデイケ

ア以外にもNEARのような具体的なプログラムを提供できることは、私たち医療者にとってもありがたいことだと思います。

■ 診察のコツ

外来で認知機能障害を見逃さないためには、患者さんにコミュニケーションで困っていることについて聞くといいと思います。ソーシャルワーカーがいれば普段の生活で困っていることや、やりづらいこと、ご家族が困っていることをよく聞いてもらうと、有益な情報が得られるはずです。

■ 早期からアプローチすること

統合失調症の好発年齢は若年層ですか

ら、早いうちから認知機能障害にアプローチしていくことは大切です。予後に関してはまだ十分検証できていないと思いますが、未来のある世代にトレーニングをしていくことは大きな意味があります。若い患者さんは、同級生が活躍している様子と自分を比較して劣等感を感じやすいのです。ですから少しでも前向きにリカバリーに向けて頑張っているのだと思えるように、支援していきたいと考えています。

■ 認知機能障害について 進行している研究

現在、私はテキストマイニングを用いて認知機能を分析できないかどうかの研究を検討中です。言語流暢性課題で発する語彙の特徴で何かをつかめるのではないかと、取り組んでいるところです。

これからも治験を含め、認知機能に関する研究を進めていきたいと考えています。

*NEAR (Neuropsychological educational approach to cognitive remediation): 認知矯正療法

**SCIT (Social cognition and interaction training): 社会認知ならびに対人関係のトレーニング